

新型コロナウイルス感染症拡大期における研修の実施について

昨夜の小池都知事の緊急記者会見において「週末の外出自粛要請」が表明された事については、皆様ご承知の通りであります。同会見では「平日はできるだけ仕事は自宅で行い、夜間の外出も控えて欲しい」との呼びかけもありました。「都市封鎖」の早期実施は否定されたものの、今後の感染者数の推移によっては、東京ロックダウンの施行、長期化が現実化する事を否定できない状況と考えられます。

公認研修機関の皆様におかれましては、引続き研修の実施の是非につき、中止・延期・規模縮小等も念頭に置き、慎重な検討をして頂くよう要請致します。この検討要請の対象地域は全国であります。特に東京を含む大都市での開催は参加者の他者との接触の機会も多くなりがちである事にも鑑み上記対応をお願い申し上げます。その上で開催を決定される際には、実行にあたり下記の感染対策（24日付けと下線部を変更しております）を含む十分な対応策をとっていただくことをお願いいたします。

主催者（会場）側の感染・衛生対策

- 研修参加予定者に対し良好な健康状態を参加条件とする旨の事前通知を行う事
- 参加者の座席について前後左右、十分な距離を確保し、近距離での会話を避ける事
- 当日の参加者の検温の実施
- 衛生対策上適切な手洗い用石鹸（乾燥していないもの、プッシュ式等）の設置
- 入口に手指の消毒液を設置し、使用を義務化する事
- 運営スタッフのマスク着用。受講者にもマスクの持参、着用を義務化する事
- 研修開始時に、講師の渡航歴・体調について報告する事
- 会場のこまめな換気を行う事

主催者として参加者に課す参加条件、感染・衛生への配慮

- 発熱や咳、体調不良等の症状がある場合の参加見合わせ。
- 過去14日間に、感染流行地域（中国、韓国、イラン、スペイン、米国等）に渡航歴がある方、濃厚接触者と特定されている方の参加見合わせ。
- 検温の受診
- マスクの着用、近距離での会話の回避
- 入念な手洗い、入口での手指消毒
- 咳エチケットと頻繁な手洗い

以上